増補　一般旅券査証欄増補申請書

厳折り曲げ禁げ

受理年月日		受理番号		—	
窓口記入欄					
増補年月日		交付年月日		旅券番号	

増補を受けようとする旅券について記入してください。（既に旅券を所持している者のみ記入のこと）

旅券番号		発行年月日（西暦）	年　月　日	
ヨミカタ	(姓)		(名)	
名義人氏名	(姓)		(名)	

性別	□男　□女	生年月日	年　月　日

現住所　〒

電話　　携帯　　その他勤務先など

居所　〒　　居所で申請する場合は居所も記入してください

電話

外務大臣殿　　令和　年　月　日

在　　大使　総領事　殿

法定代理人(親権者、後見人など)署名

（申請者が未成年の場合は親権者や未成年後見人等の法定代理人署名が、申請者が成年で成年後見人が選任されている場合には成年後見人の法定代理人署名が必要です。署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かい書体で行ってください（署名が困難な場合を除く）。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記入する場合には、その者の氏名も記入してください。）

（令和二年十二月改正）

官公庁記載欄		□本人　□代理

注意　一、太枠内の所定の欄に黒又は青の濃いインクで枠からはみ出さないよう記入してください。

二、この用紙は機械で読み取りますので折らないでください。折った場合は、申請書に改めて記入をお願いする場合もあります。

三、査証欄増補の申請は、同一旅券について一回限り行うことができます。

四、虚偽の記載をして、この申請書を提出し、又は旅券の交付を受けた場合等は、旅券法（五年（営利目的は七年）以下の懲役、三百万円（営利目的は五百万円）以下の罰金）及び刑法によって処罰されます。

五、申請書の個人情報は、海外での事故の際の援護等旅券発給以外の公の目的に利用されることがあります。

（別記第１２号の２様式）

申請書類等提出委任申出書

(法定代理人が申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です)

申請者記入

私は旅券法第3条第4項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出いたしたく、申し出ます。

令和　年　月　日

引受人氏名　　申請者との関係

引受人住所

引受人記入

私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署は本人自筆のもの（又は適正な記名）であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。
私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。

令和　年　月　日　　連絡先電話番号　（　）

生年月日　明治・大正・昭和・平成・令和　年　月　日

注意事項

1.「申請者記入」欄には、申請者本人が記入してください。
2. 申請者の指定した者が、代わりに申請書類などを提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示（出）してください。
3. この申請による旅券取得が日本国法令の罰則に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられることがあります。

（令和二年十二月改正）

（別記第３号の２様式）　　用紙の大きさはA4又はレターサイズ